

特集

リハビリテーション工学と福祉用具開発

リハビリテーションの臨床場面では、医療機関に限らず、在宅や介護施設などでも種々の福祉用具が利用されています。その目的は、治療の補助や移動支援、介護負担の軽減などさまざまです。最近では、ロボット技術を利用した用具や機器が注目を集めており、今後の日本の成長戦略の一環としても位置付けられ、多くの企業などで積極的な研究・開発が行われています。今回の特集では、各種用具の進歩や今後の開発の方向性を述べていただくとともに、明日からの臨床利用が可能な、有用な福祉用具の紹介もしていただきました。

現状と課題 井上剛伸氏.....695

リハビリテーション工学や福祉用具の開発においては、よりきめ細かいニーズの抽出、利用にかかわるステークホルダーや利用現場を中心とした技術開発（フィールド・ベースト・イノベーション）が重要になってくる。日本全体でこうした課題に取り組む必要性とともに、現在著者らが尽力されている福祉用具開発・普及促進のためのプラットフォーム構築に関する研究の概要も解説されている。

リハビリテーション訓練機器 和田 太氏.....703

工学を生かしたリハビリテーション訓練機器のうち、近年進歩の著しい分野である電気刺激、先進的装具、リハビリテーション訓練ロボット、ブレイン・マシン・インターフェイスが具体的に紹介されている。今後、ニーズ、コスト、機能のバランスがとれたリハビリテーション機器が開発されるには、医療サイドや使用者が機器開発の初期段階から参加していくことが必要である。

ニュース	警察の取り調べ、知的障害者の99%で可視化.....	701
	改正道路交通法が成立—免許、認知症の検査強化へ.....	701
	特別支援学校、教員免許まだ7割—障害の専門性が課題に.....	702
	盲導犬の育成、2014年度は141頭—日本盲人社会福祉施設協議会.....	702
	福祉機器、助成申請しやすく—100人超の事業所も対象に.....	727
	障害者支援法、332疾病に拡大—7月から.....	734
	公共交通再構築を、高齢者の生活に影響大—初の交通政策白書.....	734
	障害児・者の在宅介護負担軽く—短期入所の相談先まとめる（福岡県作製）.....	734
	「ノーマライゼーション 障害者の福祉」6月号・特集目次.....	741
	視覚障害者へのQ & A集—制度情報など届ける.....	784
	障害者白書2015年版決定.....	787

車椅子・電動車椅子—明日から臨床利用が可能な機種と開発品**児玉真一氏**.....711

最近の車椅子と電動車椅子が、障害者総合支援法による公費支給の範囲から逸脱しない機種を中心に、豊富な写真とともに紹介されている。小児用の普通型車椅子や普通型電動車椅子のラインナップが充実してきた一方で、小児用の手押し型 A の開発などに課題があるという。その他、電動車椅子の操作能力を評価できるシミュレーターや座位保持装置の組み合わせソフトウェアの開発などについても触れられており興味深い。

コミュニケーション機器 井村 保氏.....721

携帯用会話補助装置や重度障害者用意思伝達装置の公的給付制度の変遷と現行制度における利用の実際、先端技術を用いたコミュニケーション機器の入力方法などが、障害程度に応じた有効な機器の特徴と適用例とともに解説されている。一方、汎用の PC をベースとして利用することは、ユニバーサルデザインの発想にもつながり、制度利用面での課題はあるが早期からの継続利用として前向きに考えることもできると述べられている。

住宅用支援用具 橋本美芽氏.....729

住宅用支援用具の開発においては、例えば居室内にベッド、車椅子、ポータブルトイレ、リフトなどの設置を考えた場合、限られたスペースの中で性能を発揮できる機器・用具が求められる。現在これらの機能の複合化を目指した開発が行われているとのことであり、いくつかの有用な用具が紹介されている。また、認知症への対応、サービス付き高齢者向け住宅への対応などの今後の開発の方向性と課題についても言及している。

書評 障害児の教育権保障と教育実践の課題

—養護学校義務制実施に向けた取り組みに学びながら（評者：戸田竜也）.....709

お知らせ 第 8 回脳神経科学福岡セミナー.....702

日本循環器学会第 80 回学術集会 チーム医療セッション.....720

第 16 回日本臨床リハビリテーション心理研究会（旧：日本リハビリテーション心理研究会）.....720

第 18 回臨床筋電図・電気診断学入門講習会.....749

兵庫医科大学リハビリテーション医学教室主催のセミナー.....749

第 3 回自動車運転再開とリハビリテーションに関する研究会.....756

第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会.....784